

第127回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成23年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成23年6月27日～平成23年9月25日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は265件（前回報告217件、前年同時期257件）で、過去9位
そのうち男性251件、女性14件で、男性は前回（209件）及び前年同時期（240件）より増加、女性は前回（8件）より増加、前年同時期（17件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は108件（前回報告136件、前年同時期111件）で、過去14位
そのうち男性105件、女性3件で、男性は前回（127件）より減少、前年同時期（103件）より増加、女性は前回（9件）及び前年同時期（8件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は373件で過去9位

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが178件（全HIV感染者報告数の約67%）
そのうち166件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが63件（全HIV感染者報告数の約24%）
そのうち男性50件、女性13件
 - 静注薬物によるものは5件（うち、その他に計上されているものが3件）
 - 年齢別では、特に20～30代が多い（前回と比較すると、全年代で増加した）
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが60件（全AIDS患者報告数の約56%）
 - 異性間性的接触によるものが28件（全AIDS患者報告数の約26%）
そのうち男性28件、女性0件
 - 年齢別では、特に30代以上に多い

【検査・相談件数の概況（平成23年7月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,711件（前回報告24,861件、前年同時期26,904件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,596件（前回報告6,692件、前年同時期7,342件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は40,681件（前回報告38,784件、前年同時期43,403件）
抗体検査件数は前回及び前年同時期に比べ減少、相談件数は前回より増加、前年同時期に比べ減少した

【献血の概況（平成23年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は3,936,332件（前年速報値3,999,981件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は70件（前年速報値61件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は1.778件（前年速報値1.525件）

《まとめ》

1. 新規HIV感染者報告数は前回より増加し、新規エイズ患者報告数は前回より減少した。
2. HIV抗体検査件数及び相談件数はともに前年同時期と比べ減少した。
3. 早期発見は、個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。
4. 12月1日はWHOが定めた世界エイズデーである。厚生労働省や自治体等において、世界エイズデーに合わせたキャンペーンが予定されており、国民にはこの機会を通じてHIV/エイズに対して関心を持っていただきたい。